

Ballet fragrance 10

バレエ・フレイグランス
～舞い香る～ 第10回公演

I. 桜香舞 sakura kaoru mai

II. 釣針 tsuribari

III. 憇之月 urei no tsuki



☆「桜香舞」右田 俊郎氏 評
花弁の降り注ぐ中を桜の精が舞い香る風情。桜の美しさ、儂さ、哀しみが表現されている。この時期この舞は観客のひとりひとりの心に一層深く響くものがある。



☆「釣針」山野 博大氏 評
ポイントを要領よく押えた中原の振付。四人の踊り手の好演。床に照明をあてるだけで能舞台をこしらえたひらめき。狂言とバレエの楽しい融合を完成させた作品。
(オン★ステージ公演評より)

2012年
6月 8日(金)
開場 6:30pm / 開演 7:00pm

会場 / メルパルク ホール (芝公園)

後援 / 足立区
東京家政学院大学
NPO法人あらかわ学会

バレエ・フレイグランス (代表 中原由美子)
【事務局】TEL/FAX 03-3604-1054 【スタジオ】TEL/FAX 03-3870-0155
携帯メール yumiko.fragrance@ezweb.ne.jp E-mail yumiko@classic.interq.or.jp
<http://www.interq.or.jp/classic/yumiko/>

イラスト/YUMIKO(Atelier Dream)

Ballet fragrance 10

バレエ・フレイグランス
~舞い香る~ 第10回公演

■日時

2012年6月8日(金)開場6:30pm 開演7:00pm

■会場

メルパルク ホール(芝公園)

■プログラム

I. 桜香舞

足立の荒川堤の桜がワシントンに渡って100年目にあたることに思いを寄せ、桜のバレエを創作いたしました。箏と笛の生演奏での上演。

II. 釣針-恋のつりばり-

大名、美女、太郎冠者、女の四人の登場人物が踊る人間の悲喜こもごも。狂言のバレエ化。

III. 憐之月

竹林のなか、月の光が男女の心模様を照らし出します。
音楽/アルノルト・シェーンベルク

■出演

松島 正祥	桝竹 真也	小林 貫太	沼口 賢一
池川 恭平	高島 康平	荒井 英之	
中原由美子	松本 直子	津田 康子	山口ゆりあ
安蒜 知見	佐渡八千代	菊池 裕香	

■演奏

沢井 一恵(箏) 丸田 美紀(箏) 太田 豊(笛) 「愁之月」

■スタッフ

構成・演出・振付	中原由美子
舞台監督	居上 貞之
照明	藤原 太郎
音響	清山 優吾
衣装	「愁之月」*デザイン 西原 梨恵 *制作 戸塚 明子
装置協力	「桜香舞」東京家政学院大学
印刷物	あめつちの会(宇井 正武)「愁之月」
写真	小鮎佑美子 「桜香舞」(株)エー・アイ
制作	「釣針」 池上 直哉 バレエ・フレイグランス

■特別演出

香りと共にバレエ作品を楽しんでいただきます。
足立の桜がワシントンに渡った経緯の資料を配布します。

■後援

足立区
東京家政学院大学
NPO法人あらかわ学会

■チケット

前売り指定S席 ¥5,000 指定A席 ¥4,000 指定B席 ¥3,000
(当日売り各 ¥500増)

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

■チケット購入

FAX・携帯メール・E-mailにて、ご希望のチケットの枚数・
氏名・住所・電話番号を明記お申し込みください。

バレエ・フレイグランス(代表 中原由美子)

TEL・FAX 03-3604-1054【事務局】

03-3870-0155【スタジオ】

携帯メール yumiko.fragrance@ezweb.ne.jp

E-mail yumiko@classic.interq.or.jp

URL http://www.interq.or.jp/classic/yumiko/

■中原由美子 プロフィール

3歳より石井小波門下でモダン・ダンスを始め、奥水三春、友井唯起子に師事。法村・友井バレエ・スクールにてクラシック・バレエ、スパンニッシュ・ダンスを学びバレエ公演に参加。立教大学卒業後、フリーランスとなりロンドン・パリに渡り研鑽を積む。多くの著名な教師に師事。日本バレエ協会、東京バレエセンター、バレエ・フォーオール、グルーベ・アラベスク、石黒筋子ダンス、舞踊作家協会等の公演に出演。クラシック・バレエ、モダン・ダンス、地唄舞、バレエ創作、ファッショショーン演出など幅広い舞台活動を続ける。又、東京家政学院大学に招かれて「バレエの創り方」「バレエの衣装」の講義を行う。2006年世界舞踊祭にて国際交流賞を受賞。足立区所在の中原由美子バレエ・アカデミーにて30年間指導に当たる。(公社)日本バレエ協会会員



「釣針」



「桜香舞」

■[桜香舞] 演奏者 プロフィール

沢井 一恵(箏)

8歳より箏曲を宮城道雄に師事。東京芸術大学音楽学部卒業。1979年沢井忠夫と共に沢井箏曲院を開設。古典と現代邦楽の第一線で活躍する一方、全国縦断「箏遊行」や、作曲家の一柳恵、バーカッションの吉原すみれと結成した「ライアンゲル・ミュージック・ツアーや等コンサートを行う。ジョン・ゾーンのプロデュースによる公演、高橋悠治プロデュースのリサイタル、高橋悠治作品CD「風がおもてで呼んでいる」制作(コジマ録音)など多彩な活動を展開。1989年以降、ニューヨークBANG ON A CANフェスティバルを始め、ドイツのメンス・ジャズ・フェスティバル等アメリカ、ヨーロッパ、各地のフェスティバルより招聘を受け世界中の様々な音楽シーンに登場。又国内外の多様なジャンルの若手アーティスト達と「沢井一恵箏360°」の眼差しやミュージック・アクション(フランス)などで実験的コンサートを行い、多くの人々に箏の魅力を伝えている。2010年4月佐渡裕指揮・兵庫芸術文化センター管弦楽団との共演で、坂本龍一作曲の箏協奏曲を世界初演する。



丸田 美紀(箏)

長崎県出身。沢井忠夫、沢井一恵、菊雅楽孝子に師事。高崎短期大学音楽科器楽専攻(箏曲)首席卒業。さらに特待生として専攻科に学ぶ。1990年より二年間米国ウエスレン大学で客員演奏家として箏曲、地歌三絃の指導を行う。平成6年度文化庁芸術研修員。1995年ソロリサイタル開催後、東京を中心に古典曲から現代曲の初演、録音、即興演奏と幅広く、定期的にライブを行なうながら、柔軟な感性とその適応力で多岐に渡り、コラボレーションを展開。国内外の音楽祭でも高く評価されている。沢井忠夫合奏団員、KOTO VORTEXやモノフォニー・コンソート(音楽監督/藤枝守)のメンバーとして活動。三重大学非常勤講師(2004~)

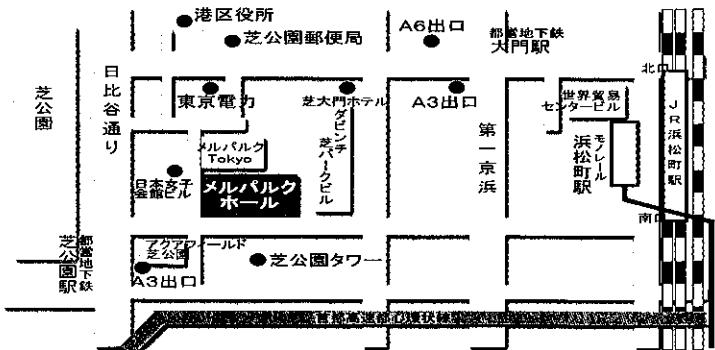


太田 豊(笛)

1975年富山県生まれ。16歳で雅楽を始める。雅楽演奏家として笛・琵琶・左舞を専門とし国内外での数多くの公演に出演。笛を宮内庁式部職楽部主席楽長、安齋省吾氏に、琵琶を芝祐靖氏に、左舞を安齋省吾・東儀雅季両氏に師事。東京芸術大学邦楽科雅楽専攻卒業。またジャズ・サックス奏者として1995年から2002年まで「洪さ知らず」に在籍。ODの録音や2度のヨーロッパツアー、FUJI ROCK FEST等に参加。日本と西洋の両方を知る音楽家として作曲・プロデュース・演奏のすべてにかかわり、演劇・舞踊・TVドラマ・CMなどの音楽制作を手がける。その他JR西日本高岡駅の発車音の作曲やデーモン小暮閣下・森山開次氏など様々なパフォーマーと舞台を共にするなど、ジャンルの壁を飛び越え多彩な活動を展開している。



■会場地図



メルパルクホール〒105-8582 東京都港区芝公園2-5-20
【TEL】03-3433-7211 【FAX】03-3433-3895

○JR(山手線・京浜東北線) ○モノレール(羽田空港直通) ○都営地下鉄三田線(東急目黒線乗入) ○都営地下鉄浅草線(京浜急行・京成乗入) ○都営地下鉄大江戸線	浜松町駅 浜松町駅 芝公園駅 大門駅 大門駅	北口または南口から徒歩約8分 北口から徒歩約8分 A3出口から徒歩約2分 A3出口から徒歩約4分 A1出口から徒歩約5分
--	------------------------------------	--